

新型コロナウイルス対策で前進・50億円の補正予算

市民の命と健康を守り、雇用と事業継続を求めました

検査・医療体制の強化を

●PCR検査等協力支援金

PCR検査および抗原検査の検体採取により、医師が感染して診療所を休止した場合に、再開のための支援金を1診療所100万円支給

●PCR検査ドライブスルー方式による検査体制を継続実施

●千葉市保健所の体制強化

- ・保健所所長の兼務を軽減して専任化へ
- ・市民向け電話相談窓口に看護師を4人配置し、相談対応を強化

日本共産党千葉市議団は、新自由主義による「市場主義」「自己責任論」によって公的医療を後退させてきた誤りを指摘し、医療体制の強化を求めました。



市内の中小企業の経営を守れ

中小企業者事業継続給付金

●国の持続化給付金の対象とならない中小企業に20万円を給付

- ・売上げが対前年比20%以上～50%未満減少した事業者に一律20万円
- ・対象は、飲食業、塗装・板金、内装、電気・ガス・水道業、製造業、運輸業、個人タクシー、不動産業、農業、接骨院、整体院、学習塾、造園業、建設業、医業、小売業、卸売業、宿泊業、理美容業、クリーニング業、NPO法人、その他
- ・申請受付期間 令和2年9月～11月末まで

【お問い合わせ先】産業支援課……………043-245-5284

日本共産党千葉市議団…043-245-5484

子どもの感染防止対策を

●分散授業のため、すべての特別教室にエアコン設置

30人を超える学級では、児童・生徒の「3密」は避けられません。特別教室を活用して分散を図るため、エアコンが設置されていない理科室や家庭科室、美術室などすべての特別教室にエアコン設置を決定。

●感染症対策のため、すべての市立小・中・高・特別支援学校に、加湿器、映像配信設備など備品を購入

日本共産党千葉市議団は市長への申し入れで、分散授業の実施のため、すべての特別教室にエアコンの設置を求めていました。



命と暮らしを支える千葉市へ

8回にわたる日本共産党千葉市議団の申し入れ(99項目)で各施策が前進



新型コロナウイルス感染症対策を申し入れる党千葉市議団 (7月14日)

引き続き、新型コロナ感染防止に取り組むとともに、「感染震源地(エピセンター)の徹底検査」や「PCR検査体制の拡充」などが求められています。

- 医療や介護、保育士、子どもルーム指導員など、「ケア労働」分野で働く方へのPCR検査実施を
- 新型コロナに感染し、回復した後に、後遺症で苦しむ方への健康ケア体制の確立や見舞金支給を
- 学校における清掃業務の委託延長と、保育所(園)でも清掃業務の委託実施を